

昇仙峡地域活性化推進協議会 第1回幹事会 議事概要

日 時 令和2年8月27日（木）午後2時～午後2時45分
場 所 甲府市役所9階 会議室9-2
出席者 幹事長、他幹事9名
欠席者 幹事1名
事務局 4名

【第1回幹事会 議事概要】

- 1 開会
- 2 幹事長あいさつ
- 3 昇仙峡地域活性化推進協議会 幹事会の役割について
⇒事務局より、資料に沿って説明。
- 4 昇仙峡地域活性化推進協議会設立総会及び第1回総会の報告について
⇒事務局より、資料に沿って説明。
- 5 昇仙峡リバイバルプランについて
⇒事務局より、資料に沿って説明。
- 6 昇仙峡地域活性化計画 2020年度事業計画について
⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事】

説明していただいた事業について、昇仙峡地域活性化推進協議会が取り組む最初の事業としては、非常に良いものがリストアップされているので、ぜひこれをしっかり進めていっていただければと思う。

1点確認したいのは、今年度、ガイドの養成事業や学術調査、嗜好性調査、パンフレットの作成などがあり、これに取り組むにあたり、昇仙峡は文化財や資源に恵まれた地域でもあることから、正確な情報発信をしていくことで、今後の昇仙峡のイメージが醸成されていくものと考えている。例えば、学術調査やパンフレットの作成については、専門家の方々のご意見も取入れていくという考えで良いか。

【幹事長】

事業を進めるにあたり、正しい情報発信が必要になってくる。パンフレットの作成や情報発信の際には、必要があれば大学の教授や各種団体の代表者に相談をするような形を取りたいと考えている。こういった形が良いか等については、今後、幹事会などでご意見を頂戴しながら進めていきたいと思う。

【幹事】

公衆トイレの洋式化について、今年度は「夢の松島」のトイレをリニューアルするということであるが、昇仙峡エリアには、昇仙峡観光協会が1つ、山梨県が2つ、甲府市が4つ、合計で7つのトイレがある。なぜ「夢の松島」を選んだのか。来年度以降も計画があるが「夢の松島」を1番に選んだ理由はなにか。

【幹事長】

昇仙峡エリア内のトイレのうち、洋式化されていないトイレで、かつ利用頻度が高いものを優先するという考えのもと、まずは「夢の松島」をリニューアルするということになった。

今後、他のトイレについても補助金を活用して整備していければと考えている。

本年度については、日本遺産の認定から補助金の要望書提出期限まで、短い期間であったことから、本来であれば幹事会などで協議すべきところであったが、今年度においては、昨年の日本遺産の申請時から検討していたこれらの事業を進めていきたいと考えており、ぜひ協力をお願いしたい。

また、補助金の内示が9月以降になることから、事業開始は、それ以降となる。

今年度実施する事業のうち、詳細がわかっているものについて、事務局から説明をお願いする。

【事務局】

今年度、実施予定事業のうち、情報コンテンツ作成事業については、日本遺産認定の話題性があるうちに実施することが有効であるため、交付決定後なるべく早く取り組んでいきたいと考えており、ポスター及びリーフレットを作成し、昇仙峡エリアはもとより、観光案内所などの公共施設への掲示や設置を行っていく。

また、ドローンを使った映像コンテンツを制作し、ダイナミックな昇仙峡の景色をテレビで放送してもらうとともに、作成した映像を用いて広く周知を図っていく。

ポスターについては、A2サイズ、1,000部を作成予定で、県外も含め広く掲示したいと考えている。あわせて、構成文化財巡りや、昇仙峡の周遊観光に使用できるリーフレットを作成し、日本遺産に認定された要素なども含め紹介していく。こちらはA3二つ折り、A4サイズ仕上がり、50,000部を作成予定でいる。

なお、令和4年度には学術調査の結果を踏まえた新たなパンフレットを作成することを計画に位置付けている。

ドローンを使った映像コンテンツ制作・発信事業については、秋・冬の昇仙峡の渓谷美や覚円峰、壮麗な仙娥滝、各構成文化財などを撮影し、テレビで放送して広く周知するとともに、撮影した映像コンテンツをホームページやデジタルサイネージなどで発信していく。それぞれの仕様については、配布資料をご確認いただきたい。

【幹事長】

令和2年度については、このような形で進めていきたいと考えている。

7 昇仙峡地域活性化計画 2021年度事業について

⇒事務局より、資料に沿って説明。

【幹事】

観光拠点整備事業だと5千万円が補助金の上限ということだが、観光に携わるものとしては、トイレが綺麗というのは、イロハの【イ】ということもある。今年度は採択が中途だったので600万円が良いとしても、トイレの改修について、令和3年に600万円、令和4年度に2千万と、段々と増えていく形になっているが、せっかくなので単年でトイレ改修を終わらせてしまうのはどうか。令和3年度に全て行うにしても、補助金の上限5千万円以内に収まるのではないかと思う。特に女性のお客様は、トイレが汚いと行きたくなる。この手の工事はまとめてやると安くなるという話もあるし、前倒して、令和3年度にまとめてやるということも含め、一度検討をお願いしたい。

また、多言語化のパンフレットの作成について、外国の方は、あまりパンフレットを見ずに、その前にネットで情報収集をしている。パンフレットを否定するものではないが、ネット発信に力を入れた方が良いのではないかな。まずは、来てもらうことが大事で、ネットであれば全世界から見られる。パンフレットを置いて、わざわざ遠くから取りに来るというのは難しい話であると思う。このことから、英語と中国語だけでもネットで発信を行って、現地にに来てもらったらパンフレットを手にしてもらうという切り口はどうか。コロナ禍でインバウンドについては、3年くらい回復は見込めないと言われているが、インターネットを活用した発信も視野に入れていければ良いと思う。

【幹事長】

トイレの改修については、それぞれ施設の所有者がおり、改修にかかる費用の3分の1は各所有者の負担となることから、予算の関係もあるので、各自治体の計画の中で進めていければと思っている。

情報発信については、現在、協議会のホームページがないため、各市等での多言語化による発信ということになる。いずれも費用負担の部分があるため、できることを粛々とやっていくというような形で対応したいと考えている。いただいた意見については、共有しながら、進めていければと考えている。

提案については、随時、メール等で構わないので積極的なご意見をいただきたい。

8 その他

事務局より、今後のスケジュールについて説明。

事業実施にあたり、委託業者の選定をプロポーザル方式で行う場合があるが、その際、事業の性質等を考慮して、幹事会メンバーから「選考委員」を依頼させていただく。

【幹事】

会計検査もあるが、公的な機関、例えば、甲府市や甲斐市のプロポーザルの方式に則るのかどうか。また、選考委員について、専門性の観点等から幹事会メンバー以外の外部委員を入れることはないか。

【幹事長】

契約等の方法については、甲府市の規則等に基づいて行う予定でいる。また、外部の委員を入れるかどうかは検討させていただくが、今のところ、協議会内で完結する形を考えている。契約事務等を進めていくにあたり、他都市に確認等をしながら随時進めていくが、必要なことや不明なことが出てきた際には、皆様のお知恵を拝借したいと思うので、協力をお願いしたい。

9 閉会

午後2時45分終了